

令和3年第6回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

令和3年9月9日（木） 午前10時開議

◎ 一 般 質 問

- (1) 8番 鹿兒島 巖 君
- (2) 6番 秋 元 英 俊 君
- (3) 5番 菅 原 明 雅 君
- (4) 7番 成 田 直 人 君
- (5) 3番 本 田 佳 子 君
- (6) 10番 熊 谷 聰 君

令和3年9月8日招集

第6回小坂町議会（定例会）

発言通告書

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	8	鹿兒島 巖	一般質問	町 長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. コロナ感染症対策について</p> <p>2. 高齢者世帯の積雪期でのごみ出しについて</p> <p>3. グリーンフィル小坂処分場にかかわって</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>コロナ感染者数は毎日のように記録を更新し、政府の自宅療養方針により自宅での死亡が頻発する深刻な事態となっている。</p> <p>県内でも感染が全域に広がり深刻さを増していることから早急に以下の対策を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「原則自宅療養」ではなく、陽性者の治療を基本に、今後に備えて病床確保・医師はじめ人材確保など医療体制の拡充を国・県に強く求めること。 2. PCR検査は何度でも無償でできるよう、また家庭感染が子どもにも拡大する可能性があることから、学校や保育園での抗体簡易キットの活用やPCR検査の態勢を整え、実施すること。 3. コロナ対策のための国の交付金（地方創生交付金）の追加交付や新たな交付金を強く求めること。 4. 2回目の持続化給付金・家賃支給を国に求め、事業困難となっている事業所支援給付金や、低所得者支援給付金を国・県に求めること。 5. コロナによる需要低下によって、米価暴落が予想されており、国が責任を持って買い上げ、離農・耕作放棄を出さない施策を国に求めること。 <p>昨年12月定例議会で取り上げ、「実態を把握し、出来ることから取り組みたい」との答弁をいただいたが、その後具体的な取り組みはどうか。</p> <p>高齢化は進行しており、年々その必要性は増していると考えます。</p> <p>町として具体的な検討を行い、広域行政組合への提言を行っていただきたい。</p> <p>グリーンフィル小坂（株）一般廃棄物最終処分場に東日本大震災由来の放射能汚染一般廃棄物焼却灰の搬入事件から10年が経過し、現在その最終処分場の拡張計画が進められているが、これまでの経過と、進行中の拡張計画および、拡張後にかかわって。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	8	鹿兒島 巖	一般質問	町長
(発言の要旨)		<p data-bbox="582 398 769 434">(発言の内容)</p> <ol data-bbox="563 450 1382 1256" style="list-style-type: none"> 1. これまでの経過の中で、特に昨年流域連絡会が独自に行った小坂川に流入する放水路の沈殿砂礫収集調査で検出されたセシウム134をどう受けとめているか、これまでの説明では矛盾があると考えるがどうか。 2. 最終処分場からの処理水の放流経路が判然とせず、小坂川へ放流にいたる実態の公表と、小坂製錬の関連も含めた環境に配慮した適切な整備を求めるべきではないか。 3. 6月23日の議会全員協議会で示された「放射性物質対応見直し」について、環境審議会に諮問され、了承が得られたとのことだが、特に、「焼却灰濃度の測定について、搬出元、搬入先どちらか一方で、1ヶ月1回から3ヶ月に1回」とする見直し策は、あまりにも企業としての責任放棄と、これを認める行政の無責任さを指摘せざるを得ないがどう考えるか。 4. 昨今の、これまでに経験のない気象現象による異常事態などに、本当に耐えうる立地条件や設備なのか、抜本的な検証が必要と考えるがどうか。 		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
2	6	秋元英俊	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 秋田県が制定した「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」について</p> <p>2. 小坂町ふるさと納税について</p> <p>3. 要配慮者利用施設に係る避難確保計画について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 県が制定したいわゆる「自転車条例」について、町としての施策をどのように考えているのか。</p> <p>2. 同じく、学校教育としての、施策をどのように考えているのか。</p> <p>3. 自転車小売店との保険等の加入や点検・整備についての連携はどのように考えているのか。</p> <p>1. 令和3年度のふるさと納税事業の受託を十和田湖西湖岸開発合同会社に予定しているが、その後の進捗は。</p> <p>2. 受託には、計画案などが含まれていると思うが、どのような施策を持ってこの事業を展開して行くのか。</p> <p>1. 小・中学校における洪水時の避難確保計画書の作成はされているのか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
3	5	菅原明雅	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 「エコタウン小坂」と「SDG s」について</p> <p>2. 町の管理する「団体会計」について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 「エコタウン」として、これまで町が取り組んできた事業について、ご案内願いたい。</p> <p>2. その中で、これからの時代を見据え、さらに推進したいと考える事業をお示し願いたい。</p> <p>3. 「SDG sとエコタウン あきたエコタウンセンター」(資料)は、「エコタウン小坂」の取り組みをSDG sと絡め、よくまとめられていると思います。町民の誇れる内容でもありますので、学校教育ではもとより広く町民に周知していただきたいと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>4. 「SDG sとエコタウン あきたエコタウンセンター」(資料)は、「教育旅行・修学旅行用資料」でもあります。そこで、鹿角市と連携し「過去(縄文遺跡)と未来(あきたエコタウンセンター)」を学べるまち「鹿角小坂」というプログラムを作成し、教育文化の充実を図ると共に観光事業につなげていただきたく、提案いたします。いかがでしょうか。</p> <p>1. 町の管理する「団体会計」のあらましについて、お伺いしたい。</p> <p>2. 町の管理する「団体会計」の監査方法と不祥事防止策をお示し願いたい。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
4	7	成田直人	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 「SDG s」について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 地方自治体にとっての「SDG s」とは、町にとって持続可能な地域社会の実現、読み替えれば「町の継続」をどのように果たしていくか、その手腕が問われることであると考えますが、そのための新たな施策をお持ちであればお示しいただきたい。</p> <p>2. 人口減少の問題点をどう捉え、それらを踏まえた今後の対応策についての考えをお知らせいただきたい。</p> <p>3. 女性参画及び多様性が求められる社会実現について、町として具体的な方策はお持ちか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
5	3	本田佳子	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 奨学金の返還支援について</p> <p>2. 町の街灯について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 小坂町の奨学金返還助成制度の利用状況はどれくらいか。</p> <p>2. 拡充された支援制度を活用すべきだと思えるがいかがか。</p> <p>3. 地元企業に対し独立行政法人日本学生支援機構が実施する奨学金返還支援（代理返還）制度の周知、利用促進をどのように考えるか。</p> <p>1. 町の街灯、防犯灯の設置状況はどのようになっているか。</p> <p>2. どれくらい自治会からの要望があったか。</p> <p>3. 実現できたところの数、できなかったところの数は何くらいか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
6	10	熊谷 聰	一般質問	町 長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. HACCPについて</p> <p>2. 水田リノベーション事業について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 令和3年6月より原則としてすべての食品等事業者にHACCPに沿った衛生管理が求められているが、町での普及状況とコロナ禍における今後の対策はどのように考えているのか。</p> <p>1. 新規開拓に向けた水田リノベーション事業について、町での今後の取組目標、また、輸出をはじめとする実績等について</p>		